

毎年6月第2日曜日は全島一斉生きもの調査の日です!

Kids 生きもの調査隊の草取り

Kids 生きもの調査隊は、自分たちが田植えをした田んぼで生きもの調査と草取り作業をしました。子供たちが5月に田植えをした無農薬の田んぼでは、稲の苗と苗の間にイヌビエやコナギ、マツバイなどの雑草が生えてきたため、腰をかがめて手で取ったり、とても便利な草取り機（草の上で軽くこするとからめ取ることができる無農薬農業の秘密兵器）で一先懸命ガンバりました。また、生きもの調査も行い、春に調査した時より種類も数も増えていることに驚いていました。



表

↑ホタル、タニシ、サギなど・・・かわいい

タッチで生きものが描かれています。



裏

↑草をからめ取るための突起がついています

田んぼでカメを

捕まえたよ(▽)/



↑草刈りのようす

稲を傷つけないよう慎重に行ないます

田んぼの生きもん図鑑

財団法人生きもの語り研究所が発行している「佐渡田んぼの生きもん図鑑」が新しくなりました。生きものを育む農法に取り組んでいる農家の方たちには、調査の時に生きものを判別しやすいよう、「オレンジ」は貝類・甲殻類、「青」はコウチュウ類、「黄緑」はカメムシ類など、種類を色で区別し分かりやすいように作ってあります。



↑図鑑を開くと、生きものが種類別に
分かりやすく載っています。



財団法人生きもの語り研究所発行の「佐渡生きもの語り作品集2012」が完成しました。島内外から応募を募り、春夏秋冬の川柳の他、イラストやエッセイがあります。右記載の川柳は、2012年度の川柳短

歌部門で
グランプリ作品です。



生きものは 育てる腕と 思いやり
川柳・短歌部門 グランプリ作品より

4羽が元気に巣立ちを迎えました!

26日現在、今年自然界で孵った(かえた)11羽のヒナのうち、順調に巣立ちを迎えられたのは4羽でした。幼鳥らは、自立へ向かって一歩ずつ進み、モニタリングチームの観察では自力でミミズなどを食べている姿が確認されています。幼鳥の近くには親鳥がおり、上手く餌場へ誘導している様子でした。このまま4羽が育てて欲しいと願っています。



佐渡生きもの語り
作品集
2012



編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 渡部・古城(ふるぎ)
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発効日：平成25年6月